

明治国際医療大とAMDA

## 災害時連携支援で協定



協定書に署名する中川理事長(中央右)と菅波理事長(同左)  
—南丹市日吉町・明治国際医療大

鍼灸や柔道整復などを備える同大学は今年4月、AMDAの要請を受けて東日本大震災の被災地で活動したことが縁で、協定へと発展した。被災地では、治療を受けやすい伝統医療の敷居の低さや、痛みを緩和する技術が発揮されたという。

同大学での調印式はAMDAの菅波理事長が「今回、災害時における伝統医療の在り方を再認識した。AMDAのネットワークを生かし、世界を舞台に一緒に歩みたい」とあいさつ。同大学の中川

雅夫理事長は「日本の鍼灸を世界へ発信したい」と話した。協定では▽災害時の医療支援▽アジアの伝統医学との交流—などの協力を規定。A M D A が被災地の鍼灸師と開設準備を進める健康サポートセンターの運営に、大学の協力を検討している。

(小西貴久)

明治国際医療大(南丹市日吉町)と、国際医療援助団体AMDA(本部・岡山市)が17

日、災害時の医療支援

や、伝統医学の国際的な発信などに関する連携協定を結んだ。